

製品仕様書

[WAVE ファイル再生ユニット]
デジタルアナウンスマシン WRX-8F1M

FA

RoHS

PSE

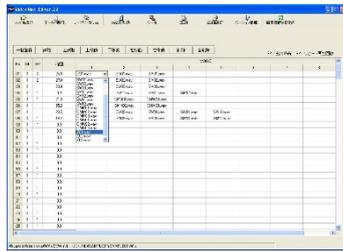
誤記修正 PS_WRX8F1M-02_240603

新規作成 PS_WRX8F1M-01_220504



[付属品] ACアダプタ・CFカード

サポートソフト VoiceNavi Editor [無償WEB配布]



RoHS 指令対応モデル

フォトカプラ入出力(FA仕様)

クライアント自身で音声・音源データの登録・変更ができます。

- 端子台による録音・再生制御
- MIC/ライン入力によるCFカードへダイレクト録音
- サポートソフトによる音声・音源データを登録・変更
- フォトカプラ入出力(FA仕様)
- 8CH-接点制御(録音再生)
- 255CH-バイナリ制御(再生・録音)
- 監視用出力端子 BUSY/ALM
- ライン出力 600Ω不平衡
- 5Wスピーカーアンプ搭載
- EIA1U ハーフサイズ 210W×180D×44Hmm
- DC24V または DC12V 電源(端子台入力)
- 付属品 ACアダプタ 工業用CFカード256MB
- WRX-8F1 互換機
- WRX7000 後継機(互換機)

商品概要

WRX-8F1M はダム・水門放流警報、自治体防災放送、電車接近放送など各種自動放送の音源部や防災・通信システムの放送制御卓の録音再生部として最適なデジタルアナウンスマシンです。

記憶媒体にCFカード、音源に48/44.1KHz/22.05KHz 16Bit/8Bit 高音質サンプリングのWAVE形式、MP3に対応し、600Ω不平衡ライン出力、5Wスピーカーアンプ搭載、8CH接点制御/255CH-バイナリ制御、フォトカプラ入出力、マイク・ライン入力によるCFカードへのダイレクト録音(WAVEファイル形式)、またはサポートソフト VoiceNavi Editor による音声・音響データ登録・変更が簡単にお客様自身で行えます。

WAVE/MP3ファイル・CFカード採用と無償サポートソフト VoiceNavi Editor によりクライアント自身で音声・音源データの登録・変更ができます。

主な使用用途

- 自動放送システムの音源
 - ・ダム・水門放流警報
 - ・自治体防災放送
 - ・電車接近放送
- 音声・音響警報システムの音源
 - 防災放送の制御卓用の録音再生部
 - 各種放送の制御卓用の録音再生部
 - RoHS 指令対応品が要求される分野
 - WRX-8F1 互換機
 - WRX7000 後継機・互換機

特長

- RoHS 指令対応品
- MIC/ライン入力によるCFカードへダイレクト録音
- サポートソフトによる音声・音源データを登録・変更
- 端子台による録音・再生制御
- フォトカプラ入出力<FA仕様>
- 音源にWAVEファイル採用
- 高音質サンプリング 48/44.1/22.05KHz 16/8Bit Mono
- 記憶媒体にCFカード採用 32MB~32GB FAT/FAT32 対応
- 録音プロテクト 全CH/個別CH(1~4CH)スイッチ
ファイル名による録音禁止
- コンパクトサイズ・EIAラック対応
- 無償サポートソフト VoiceNavi Editor
- 8CH-接点制御(録音再生)
- 用途別再生モード・インターバルタイマー
- 255CH-バイナリ制御(再生・録音)
- P/R端子(再生/録音モード切替)
- 監視用出力端子 BUSY/ALM
- 自己復旧機能(ウォッチドックタイマリセット)
- スピーカー出力 5W/8Ω
- ライン出力 600Ω0dB 不平衡(-10dBm~8dBm)
- EIA1U ハーフサイズ 210×44×180mm
- AC100V電源(ACアダプタ付属)
- DC24V または DC12V 電源(端子台入力)

VoiceNavi

標準仕様

FA

RoHS

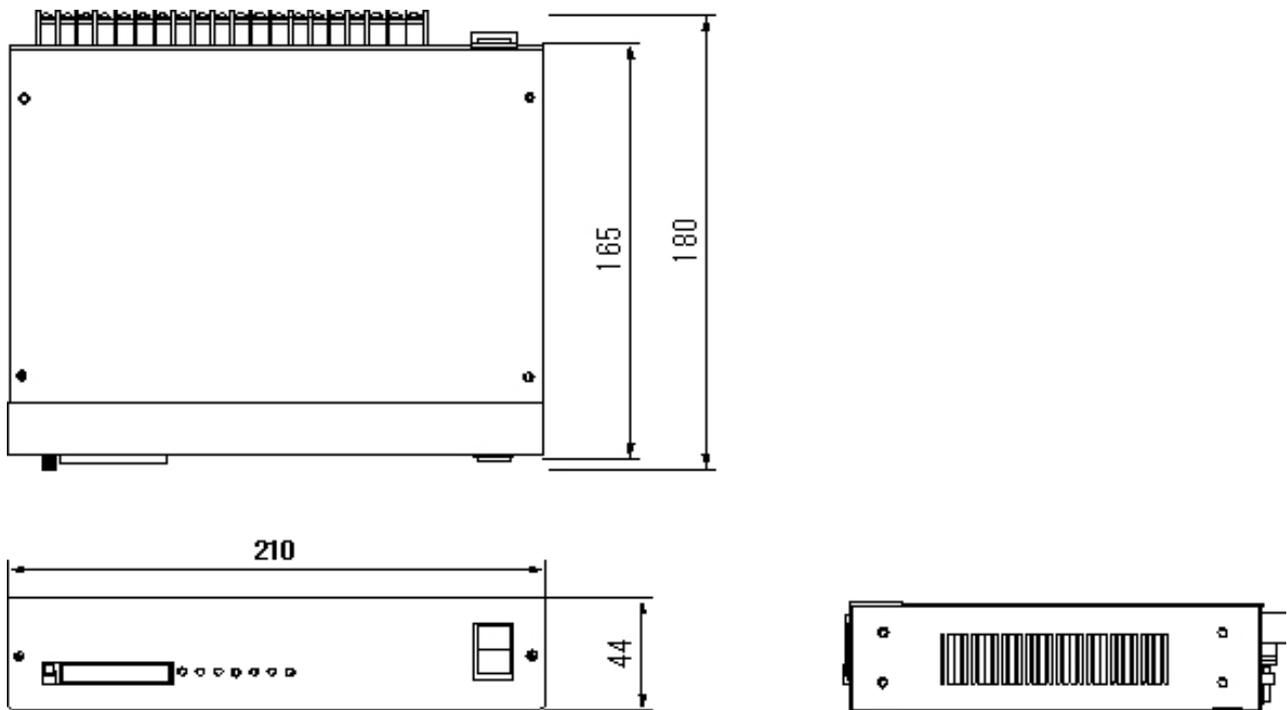
PSE

定格使用電圧	AC100V 50/60HZ (注) 付属品 ACアダプタ使用 DC+24V±5% または DC+12V±5% リアパネル M3 端子台													
消費電力・電流	AC100V 時 待機時 約 7W 最大時 約 23W (注) 付属品 ACアダプタ使用時 [DC 電源の場合] DC+24V 時 待機時 約 130mA 最大時 約 450mA DC+12V 時 待機時 約 200mA 最大時 約 760mA													
寸法・重量	210W X 180D X 44H mm 約 1.5 Kg EIA ラック収納対応													
仕上・塗装	スチール ブラック 焼付塗装													
使用環境	使用時: -5°C~55°C 0%~80%RH 保存時: -10°C~70°C(但し結露なき事)													
録音・再生方式	<ul style="list-style-type: none"> ■ダイレクト録音 WAVE ファイル形式 (注)PCM 録音後、WAVE ファイル形式で記録 ■サポートソフト登録 WAVE ファイル WAV 形式 48/44.1/22.05KHz 16/8Bit Mono MP3 形式 48/44.1kHz Mono/Stereo(Lchのみ再生) 													
再生帯域	80Hz~13KHz													
音声入力	MIC 入力	9dBm(出荷時) (注) VR1 4dBm~13dBm ミニジャック リアパネル												
	LINE 入力	-5dBm(出荷時) (注) VR2 -9dBm~0dBm ミニジャック リアパネル												
音声出力	SP 出力	AC100V 時 5W(8Ω) M3 端子台 リアパネル DC+24/12V 時 5W(8Ω) M3 端子台 リアパネル												
	LINE 出力	600Ω 0dBm RCAピンジャック (-10dBm~8dBm 調整可)												
音量調整	SP 出力	シャフトつまみ付可変ボリューム (リアパネル)												
	LINE 出力	本体内ボード上半固定ボリューム -10dBm~8dBm												
適用カード	CF カード 32MB~32GB (FAT16 / FAT32 に対応)													
録音制御 サポートソフトもよる 音声データ登録	<p>下記方法で音声・音源データの録音・登録ができます</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">ダイレクト録音の場合</td> <td style="width: 20%;">接点制御</td> <td style="width: 10%;">8CH</td> <td style="width: 40%;">リアパネル端子台制御</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">サポートソフト登録の場合</td> <td>接点制御</td> <td>8CH</td> <td>リアパネル端子台制御可</td> </tr> <tr> <td>バイナリ制御</td> <td>255CH</td> <td>プログラム登録対応</td> </tr> </table> <p>■接点制御 8CHmax. M3 端子台 フォトカプラ入出力<FA仕様> ダイレクト録音(マイク・ライン入力) リアパネル端子台 P/R 端子 ON 時—録音モード 録音終了後、自動的に WAVE ファイル形式に変更・記録します。 IN: P/R(REC) 無電圧メーク/NPN オープンコネクタ IN: /1-8 /無電圧メーク/NPN オープンコネクタ IN: /STOP 無電圧メーク/NPN オープンコネクタ OUT: /BUSY/ALM オープンコネクタ出力 DC+30V 500mA ・録音サンプリングモード 44.1/22.05KHz 16/8Bit Mono (DIPSW 設定) ・録音方法 /REC + /SW1~SW8 に対応する CH1~8 に録音開始 /STOP で録音終了 ・上書き録音形式 (注)DIPSW 録音禁止スイッチ有</p> <p>■サポートソフト VoiceNavi Editor によりよる音声・音響データ登録 サポートソフト VoiceNavi Editor 上で音声・音響データ(WAVE ファイル)を登録後、接点端子(アドレス)に登録して WRX シリーズ用カードデータを作成。市販 USB カードアダプタ経由で CF カードにコピー。 ・プログラム登録: 1 つの再生 CH に 8 音声+9 回リピートの組立再生登録が可能。</p>			ダイレクト録音の場合	接点制御	8CH	リアパネル端子台制御	サポートソフト登録の場合	接点制御	8CH	リアパネル端子台制御可	バイナリ制御	255CH	プログラム登録対応
ダイレクト録音の場合	接点制御	8CH	リアパネル端子台制御											
サポートソフト登録の場合	接点制御	8CH	リアパネル端子台制御可											
	バイナリ制御	255CH	プログラム登録対応											
再生制御	<p>再生モードは MODE1 SW で設定</p> <p>■接点制御 8CH 入力あり M3 端子台 フォトカプラ入出力 <FA仕様> [再生モード] 1.通常再生 2.後入力切替 3.優先順位 4.順番再生 インターバルタイマー: 0/5/10/15 分(通常再生モード時) IN: /SW1~SW8 /STOP /OP 無電圧メークまたは NPN オープンコネクタ OUT: /BUSY /ALM オープンコネクタ出力(DC+30V 500mA)</p> <p>■バイナリ制御 255CHmax.(再生・録音) M3 端子台 フォトカプラ入出力<FA仕様> IN: /D0~D7 /STOP /ST 無電圧メークまたは NPN オープンコネクタ OUT: /BUSY /ALM オープンコネクタ出力(DC+30V 500mA)</p>													

VoiceNavi

録音時間 または登録時間	CF カード容量とサンプリングによる (注)録音サンプリングモード-リアパネル DIPSW 設定		
	カード容量	サンプリングモード	
		44.1KHz 16Bit mono	22.05KHz 16Bit mono
	128MB	22 分	44 分
	256MB	44 分	88 分
	512MB	88 分	176 分
	1GB	176 分	352 分
	2GB	352 分	704 分
	(注) 8Bitデータ/混在サンプリングモード可。		
	※ MP3 形式の場合、上表 WAV 形式 44.1kHz 16bit の約 10 倍を収録可能		
再生時間	■ダイレクト録音の場合 録音した時間 ■サポートソフト登録の場合 登録した時間またはプログラム内容による		
付属品	AC アダプタ 1.5m コード 1 個 PSE/RoHS (IN 100V~220V 50/60Hz OUT DC24V 1A 工業用 CF カード 256MB 1 枚		
オプション	CF カード(工業用) 128/256/512MB 1GB/2GB マイク AT-X3(オーディオテクニカ製 ダイナミック型) ※コンデンサ型マイクは使用不可 WRX-LKANAGU-B01 補助金具 L 金具 WRX-EIA1U-B210S 補助金具 EIA ラック収納用(1 台) WAV-E/2SB 補助金具 EIA ラック収納用(2 台)		
適用サポートソフト	サポートソフト VoiceNavi Editor [無償 WEB 配布]		
その他	●遠隔監視用接点端子 BUSY(PLAY)出力 ALM(CPU 異常)出力 ●自己復旧機能(ウォッチドックタイマリセット) ALM 出力・保持 ●全 CH 録音プロテクトスイッチ MODE1 の 6 ●個別 CH 録音プロテクトスイッチ MODE2 SW 1-4CH ●WAVE ファイル名による録音プロテクト (WRX001.wav~WRX008.wav のみ上書録音可)		

外観図



■設置方法

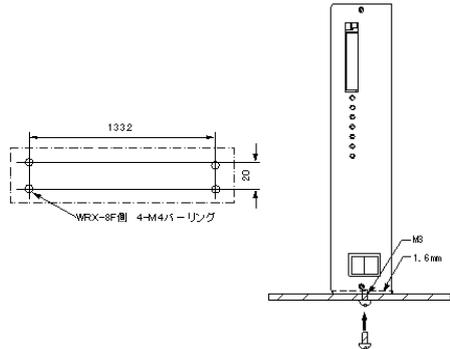
CF カード 脱着距離 40mm を考慮して設置します。
 振動が多い場所では、防振ゴム等の耐震対策を行って下さい。

寸法・重量	210W X 180D X 44H mm (突起部含まず) 約 1.5 Kg (突起部含まず) [基板穴寸法] 160W X 60D 4-Φ4mm [CF カード 脱着距離] 37mm 以上 カードサイズ:42.8W×36.4Dm×3.3H mm
-------	---

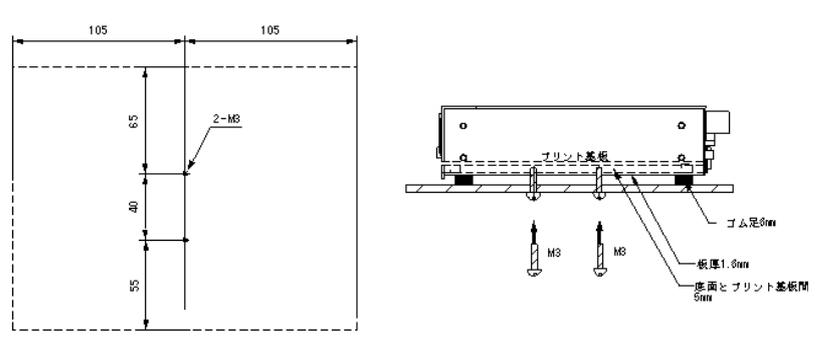
■据え置き

ゴム足(高さ 6mm)が底面に貼付されています。そのまま設置できます。

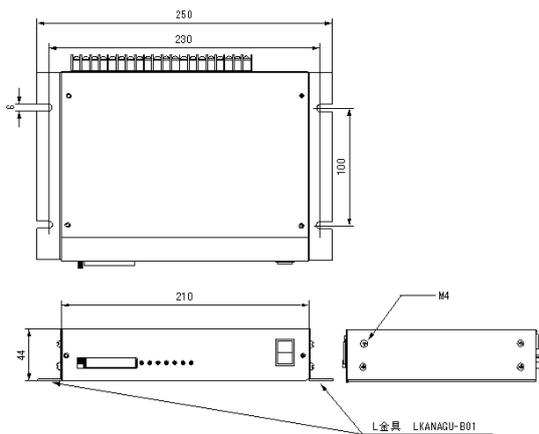
■ネジ止め固定 (側面利用)



■ネジ止め固定 (底面利用)



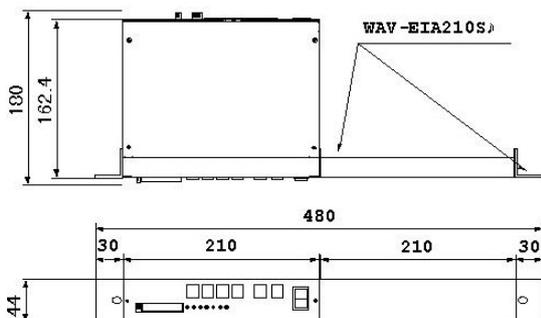
■L 金具による固定 (オプション WRX-LKANAGU-B01)



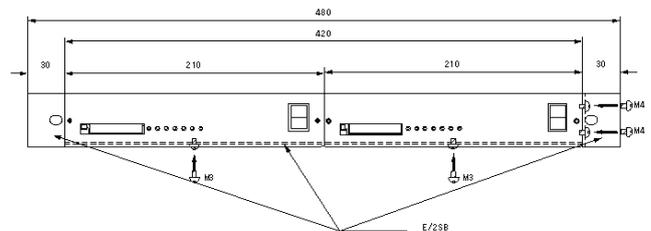
振動の多い場所では、ゴムなど緩衝材を入れ、振動対策を行って下さい。

■EIA ラックに収納する場合

- WRX-8F1M 1 台の場合
 補助金具 WRX-EIA1U-210BS

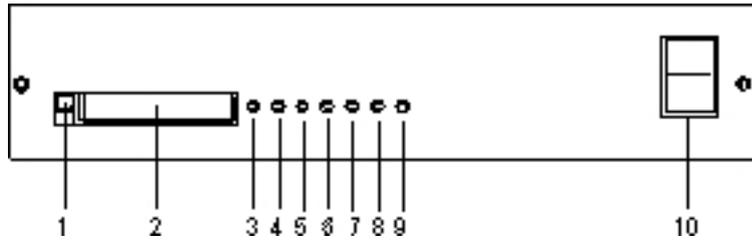


- WRX-8F1M 2 台の場合
 補助金具 WAV-E/2S



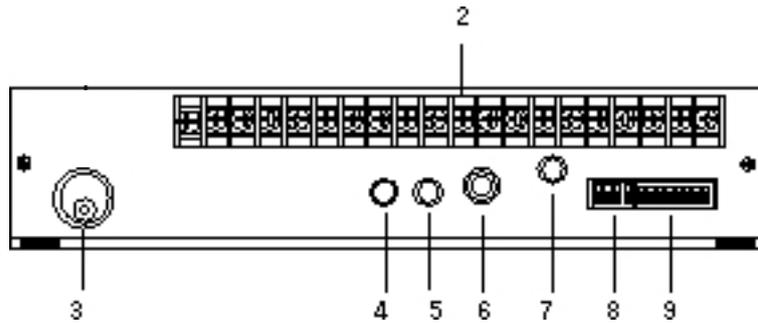
VoiceNavi

■フロントパネル



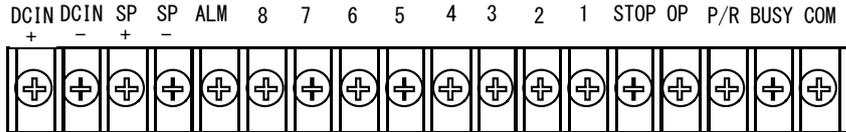
表示	表示	名称	機能
1	EJECT	エジェクト端子	CF カード排出用プッシュ端子
2	Flash Card	カードコネクタ	CF(コンパクトフラッシュ)カード用コネクタ
3	CD	カードイン LED	CF カードがコネクタ IN 時、点灯
4	PLAY	再生中 LED	再生中点灯 並びに各種エラー表示
5	REC	録音中 LED	録音中点灯
6	ER	エラーLED	初期化処理/オールクリア等各種処理時点灯
7	LEVEL	入力レベル LED	マイク入力のレベルオーバー時に点灯
8	ALM	アラーム LED	ノイズ等で CPU が暴走した場合に点灯、電源再投入で消灯
9	POWER	電源 LED	電源 ON 時、点灯
10	POWER	電源スイッチ	DC 電源 ON/OFF

■リアパネル



表示	表示	名称	機能
2		端子台(M3×18P)	下記参照
3	DC IN	DC ジャック	AC アダプタを接続します。
3	MIC IN	マイク入力ミニジャック	マイク入力用ミニジャック
4	LINE IN	ライン入力ミニジャック	ライン入力用ミニジャック
5	LINE OUT	ライン出力用ピンジャック	ライン出力用 RCA ピンジャック
6	VR	ボリューム	スピーカー出力用音量調整(シャフト式)
7	MODE2	モード 2 スイッチ	タイマー設定用
8	MODE1	モード 1 スイッチ	制御モード・タイマー・録音サンプリング周波数設定用

■リアパネル端子台 M3×18P



表示	I/O	接点制御	バイナリ制御	機能
DC IN+	I	DC IN	DC IN	DC+24V(+12V)電源を接続できます。
DC IN-	I	DC IN GND	DC IN GND	
SP+	O	SP OUT+	SP OUT+	スピーカーと接続します。(定格 5W 以上のインピーダンス 8Ω 程度のスピーカをご利用ください。)
SP-	O	SP OUT-	SP OUT-	
ALM	O	/ALM	/ALM	アラーム出力 (注)電源 OFF まで出力保持します。
8	I	/SW8	/D7	接点制御モード時-再生チャンネルの再生起動 バイナリ制御モード時-再生チャンネルの指定
7	I	/SW 7	/D6	
6	I	/SW 6	/D5	
5	I	/SW 5	/D4	
4	I	/SW 4	/D3	
3	I	/SW 3	/D2	
2	I	/SW 2	/D1	
1	I	/SW 1	/D0	
STOP	I	/STOP	/STOP	停止他
OP	I	/OP	/STB	/STB — バイナリ制御時再生起動
P/R	I	P/R	-	再生/録音モードの切替 /R-録音モード
BUSY	O	BUSY	BUSY	再生中出力
COM		COM	COM	COM

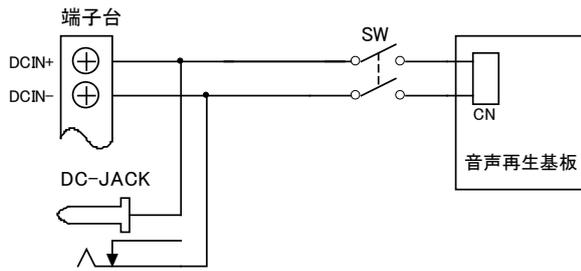
■設定-再生モード (MODE1)

再生モード ●→ON

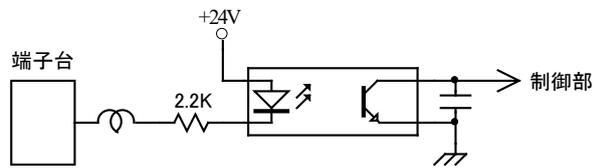
1	2	3	4~8	再生モード	概要
				1 接点制御—通常再生モード	ほとんどの全用途で使用できます インターバルタイマーが設定できます
●				2 接点制御—後入力切替再生モード	設備の操作説明・音響演出
	●			3 接点制御—優先順位再生モード	優先度の高い CH に即切り替え再生 CH8<.....<CH1
●	●			4 接点制御—順番再生モード(カウント)	1 点出カタイマー装置による定時放送 音響演出・作業マニュアル案内装置
		●		5 接点制御—順次記憶再生モード	入力された接点情報を記憶し、順次再生を行いません (メモリバッファ 32CHmax)
●		●		6 接点制御—入力中再生	SW 入力 が ON の間のみ発生します。
	●	●		7	
●	●	●		8 255CH-バイナリ制御	255CH 再生専用(2017 年 12 月までの製造) 255CH 再生・録音(2018 年以降製造)

■内部回路・等価回路

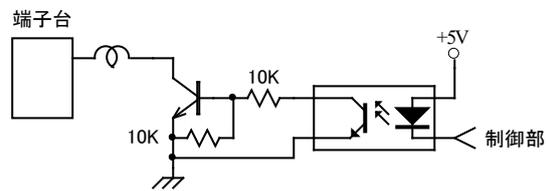
● DCジャックとDC電源入力



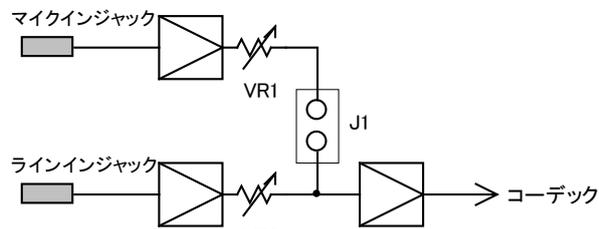
●入力信号ライン】 SW1-8(D0-7) OP STOP



●出力信号ライン BUSY ALM

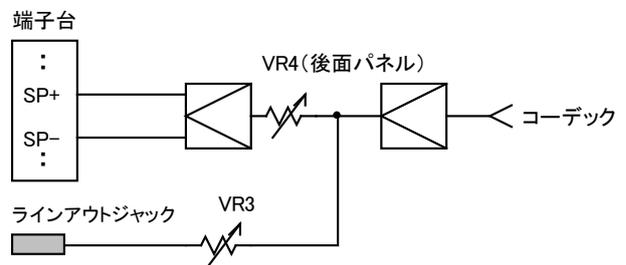


●マイクイン・ラインイン



(注)工場出荷時は J1 ショート

●スピーカーアウト・ラインアウト



(注)本書中記載の商品・社名は各社の商標または登録商標です。本書記載の仕様・概観は改良等により、予告なく変更になることがあります。

VoiceNavi 三共電子株式会社 〒389-1102 長野県長野市豊野町大倉3500-17

TEL 026-257-6210 / FAX 026-217-2893
 info@voicenavi.co.jp / www.voicenavi.co.jp